

中心市街地での駐車場の対応について

駐車需要 (行政機能の移転規模を 最大に見込んだ場合)

- 行政サービスに係る駐車需要
 - ① 公用車: 50台
 - ② 来庁者用: 最大時350台
平常時250台
 - ③ 職員用: 300台

**合計 最大時 700台
平常時 600台**

- 厚生会館イベント時の駐車需要
多目的ホール使用時: 450台

行政サービスに係る駐車需要は平日、イベント時の駐車需要は主に休日であるため、各々の駐車需要の競合は少ないと見込まれる。

対応方針

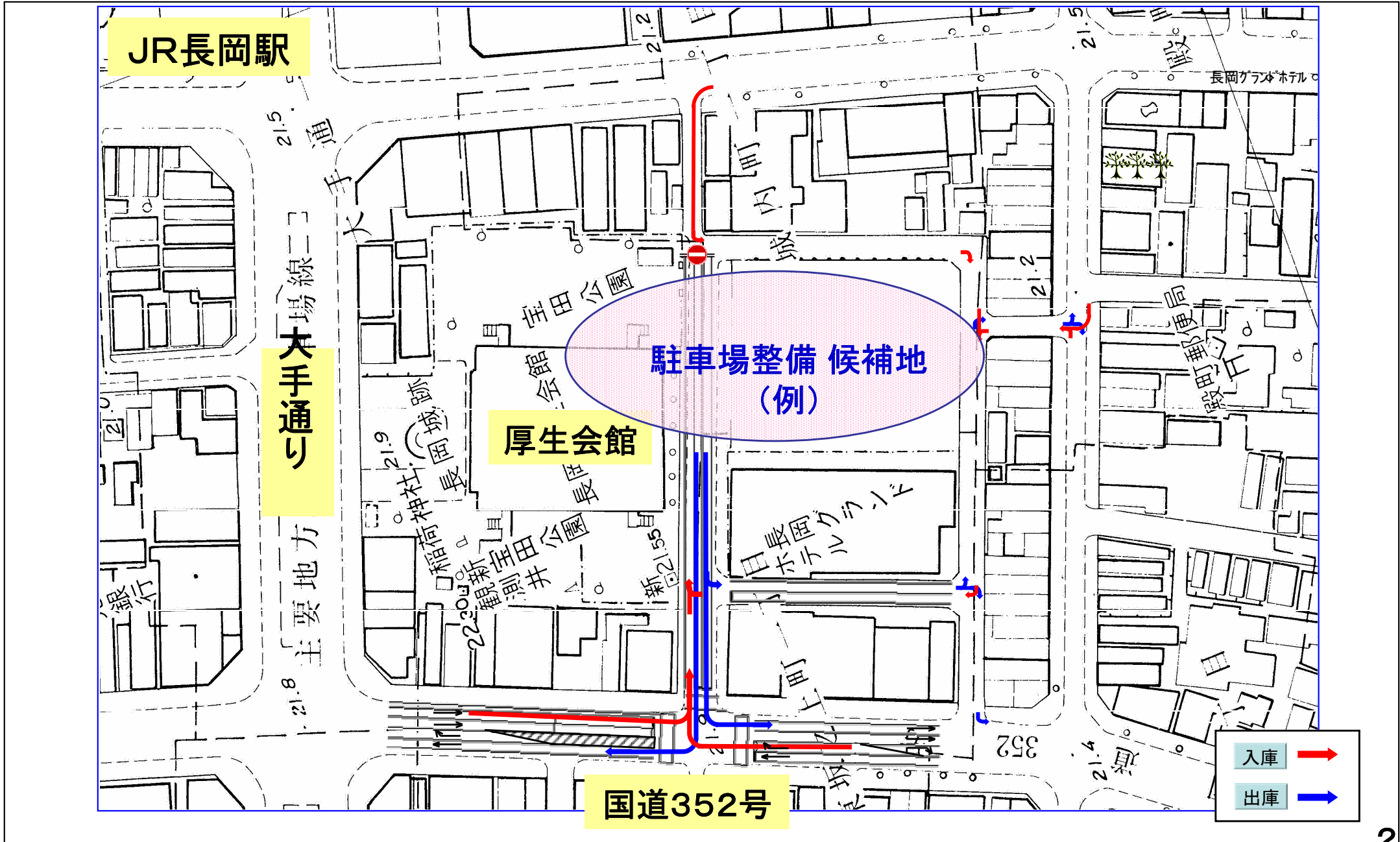
- ① 行政サービスに係る駐車需要のうち、公用車及び来庁者用については、中心市街地の各配置先に新規整備により対応。
- ② 職員用の駐車場については、現本庁舎駐車場とのシャトルバスや、民間駐車場等の利用について今後検討。
- ③ イベント時の駐車需要に対しては、厚生会館地区の駐車場を有効利用するとともに、周辺の公共駐車場や民間駐車場を利用。

中心市街地の駐車場確保

- 各配置先へ新規整備
※200～300台
- 公共駐車場(431台)
 - ① 市営大手口駐車場: 191台
 - ② 市営表町駐車場: 40台
 - ③ 県営大手通り地下駐車場
: 200台
- 民間駐車場(大手口側)
約1,700台

※ 行政機能の配置状況に応じて、厚生会館地区のみでなく、その他の再開発地区での整備も視野に入れる。

中心市街地における駐車場整備例



駐車場への入出庫に係る交通処理の検討

検討フロー

行政機能再配置に係る駐車需要台数の算出

厚生会館地区での駐車場整備を想定し、
駐車場のレイアウト、進入路の位置を検討

ピーク時^{*}における入出庫に係る交通処理の検討

※ピーク時: 10時~11時

処理可能

処理不能

厚生会館地区において
整備可能

厚生会館地区及び周辺
の既存公共駐車場を
有効活用等

検討結果

- ・ 厚生会館地区でのピーク時における駐車場への入出庫について、交通処理上約400台程度までは周辺道路へ渋滞等の影響は発生しない。